

料金後納
郵便

不二サッシは窓から夢をひろげていきます

Fujisash Report

FUJISASH 平成30年4月1日 ▶ 平成30年9月30日 | 証券コード: 5940 Vol.04

※本通信は9月末時点での株主様にお送りしています。

不二サッシ株式会社

株主名簿管理人連絡先

三井住友信託銀行 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

TAKARA

TOPICSはこちらから

☐ 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

株主の皆様へ



株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援ご愛顧を賜り、誠に有り難うございます。

このたび、当社の第38期第2四半期（平成30年4月1日から平成30年9月30日）が終了しましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 吉田 勉

第2四半期の営業概況について

当第2四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、新設住宅着工戸数は前年比横ばいの状況が続いている中、持ち家は減少傾向が続き、先行きは不透明な状況です。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高403億6千3百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業損失10億2千1百万円（前年同四半期は営業損失2億9千万円）、経常損失10億6千6百万円（前年同四半期は経常損失3億9千万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、13億8千6百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億9千3百万円）となりました。

■平成31年3月期の業績予想について

売上高は、ビル建材事業の受注確保や住宅建材事業の拡販および形材外販事業におけるアルミ加工品の物量増加により、期初公表どおり1,000億円を予想しております。

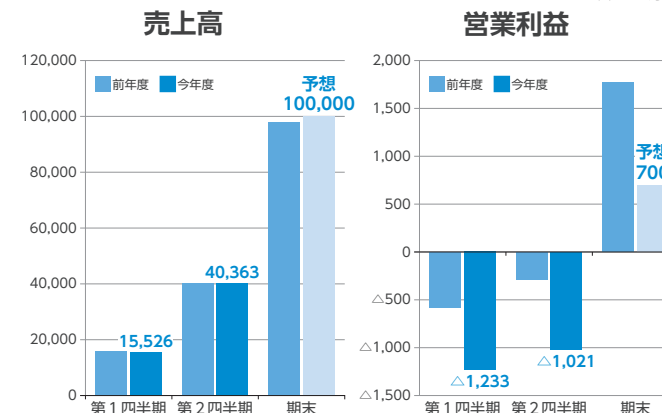
一方、利益面は、建材事業におけるビル建材事業での市場競争激化やアルミ地金価格の上昇の影響などによる利益率の低下、形材外販事業における物量の減少にともなう市場競争の激しさによる利益の減少をふまえ、期初公表予想を営業利益7億円、経常利益7億円、親会社に帰属する当期純利益3億円の修正しております。

なお、平成31年3月期の配当は、期初公表どおり1株あたり1円50銭を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月期の連結業績予想

単位：百万円



2018年度グッドデザイン賞を受賞

当社は、このたび公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2018年度グッドデザイン賞」において「FNS-II 100R」、「アルビームカーテンウォール トランザムタイプ」の2商品が受賞いたしました。

《受賞商品の概要》

◆ アルビームカーテンウォール トランザムタイプ

『建材と照明を融合させる』という新しい考え方の元に、サッシやカーテンウォールといった外装建材にLED照明を内蔵し、光の意匠を加える商品シリーズ「アルビームシステム」。「アルビームカーテンウォール トランザムタイプ」はこのアルビームシステムの新しいラインナップとして、株式会社遠藤照明、フィグラ株式会社の協力を得て開発しました。

<販売開始>2018年7月



特殊ガラスと高出力LED照明を搭載したカーテンウォール外観。



無目部材にLED照明を内蔵し、新設計レンズを搭載。

◀ 営業概況はこちらから

《受賞商品の概要》

◆ FNS-II 100R

低炭素社会実現に向け、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）および、集合住宅向けのネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH-M）は、2030年までにCO₂削減目標26%（2013年度比）を掲げています。

「FNS-II 100R」はこれに対応するビル向けサッシとして開発した商品です。

マンション、ビル建築に求められる高強度および高耐候性能を担う外部面をアルミ合金、高断熱性能を担う内部面を「樹脂カバー」とする「アルミ樹脂複合構造」を採用しました。

この「樹脂カバー」は経年によるサッシ強度への影響が全く無い構造としている一方、交換も可能であり、後のリフォーム、リノベーション時に、より一層快適な空間の提案を可能とした商品です。

また、「FNS-II 100R」は、高層マンション等、高層建築への対応も可能とした商品です。

<販売開始>2019年3月発売予定



長谷工コーポレーションが推進するオープンイノベーションによるICT活用RFID（電子タグ）を用いた建設部材の一元管理の実証を開始

当社は、株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：辻範明）が実証を開始したICT技術を活用した「RFID（電子タグ）」^{*1}を用いた建設部材の一元管理を、「オープンイノベーションパートナー」として自社商品の生産および施工で実証を開始します。

国内において、生産コストは労働力不足により材料、輸送と様々な面で絡み合い上昇しています。

これに対して、ICT技術を社内の既存システムに組み込み、有効性について検証を推進していきます。

^{*1} Radio Frequency Identification：無線を利用して非接触でデータを読み書きする自動認識技術を用いたタグ

今回の検証は株式会社長谷工コーポレーションが推進している「長谷工版BIM」^{*2}への組み込みにより両者間の生産効率向上への相乗効果が期待されます。

^{*2} BIMの特徴である運動性・可視性・一元性に加え、長谷工グループの設計・施工のノウハウを組み込むことで設計品質と生産効率を向上

不二サッシ株式会社

〒212-0058
神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号
新川崎三井ビルディング
<http://www.fujisash.co.jp/>

記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。